

科目名		運動療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(4単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
理学療法士の行う運動療法によっておこる生体への反応などを学び、運動療法の基礎理論を理解する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
運動学、解剖学、生理学を基礎知識にして、運動療法によって起こる生体への反応を理解する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
各運動療法の基礎知識を理解し、実習の授業の理解を促進できる。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	オリエンテーション								
3	運動療法学の基礎								
4	運動療法学の基礎								
5	運動療法学の基礎								
6	運動療法学の基礎								
7	基本的な運動の分類								
8	基本的な運動の分類								
9	基本的な運動の分類								
10	基本的な運動の分類								
11	運動学習について								
12	運動学習について								
13	運動学習について								
14	運動学習について								
15	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
16	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
17	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
18	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
19	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
20	関節運動学に基づいた関節可動域練習								
21	筋力増強練習の基礎								
22	筋力増強練習の基礎								
23	筋力増強練習の基礎								
24	筋力増強練習の基礎								
25	筋力増強練習の基礎								
26	筋力増強練習の基礎								
27	基本動作練習								
28	基本動作練習								
29	まとめ								
30	まとめ								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
P T ・ O T ビジュアルテキスト運動器の運動療法	小柳磨毅	羊土社
腰痛に対する基礎的リハビリテーション	吉田優也	滋慶出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験で評価する